

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月20日

計画の名称	高規格道路（北関東・関越・圏央・東北）沿線地域における広域的産業・物流活性化											
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	群馬県											
計画の目標	群馬県・埼玉県においては、自動車関連産業等の産業拠点が点在し、両県間の物流も盛んである。また、平成27年には埼玉県内の圏央道が全線開通し、高規格道路（北関東・関越・圏央・東北）に取り囲まれた利便性の高い地域になっており、さらにスマートICの開設が予定されるなど、本地域の産業立地の優位性が高まっている。 このポテンシャルを活かすため、群馬県・埼玉県の両県をつなぐ道路、及び高規格道路と産業拠点とのアクセス道路を整備して物流機能を高めることにより、広域的な競争力を強化し、本地域の更なる産業活性化を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	24,350	A	24,350	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28)	中間目標値	最終目標値 (H32未)
1	【群馬県・埼玉県 共通目標】 連携する2県の計画エリアにおける製造品出荷額等 1,332百億円（H28） 1,480百億円（H32）(148百億円（11%）増加) 連携する2県の計画エリアにおける製造品出荷額等の増加 （増加割合）=（評価時点の製造品出荷額等 - H28の製造品出荷額等） / （H28の製造品出荷額等）	1332百億円	百億円	1480百億円
2	【群馬県 単独目標】 群馬県の計画エリアにおける製造品出荷額等 673百億円（H28） 748百億円（H32）(75百億円（11%）増加) 群馬県の計画エリアにおける製造品出荷額等の増加 （増加割合）=（評価時点の製造品出荷額等 - H28の製造品出荷額等） / （H28の製造品出荷額等）	673百億円	百億円	748百億円
3	【群馬県 単独目標】 群馬県の計画エリアにおける県外企業立地件数（製造業） 0件（H28） 110件（H32）(110件（皆増）増加) 群馬県の計画エリアにおける県外企業立地件数（製造業）の増加	0件	件	110件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)354号 海老瀬工区 (8-A1-1)	バイパス L=530m	板倉町						1,000	2.9	-
	A11-002	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)122号 大谷工区(8 -A1-2)	バイパス L=2,100m	館林市						3,000	2.0	-
	A11-003	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)122号 館林明和工 区(8-A1-3)	バイパス L=1,000m	館林市・明和町						650		-
	A11-004	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)354号 小桑原・緑 工区(8-A1-4)	現道拡幅 L=1,400m	館林市						300		-
	A11-005	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(一)山王赤生田線 楠 工区(8-A2-1)	バイパス L=450m	館林市						1,000		-
	A11-006	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(主)足利邑楽行田線 上中森工区(8-A2-2)	現道拡幅 L=400m	千代田町						258		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(一) 矢島大泉線 鞍掛 東工区(8-A2-3)	バイパス L=850m	邑楽町						1,000	1.5	-
	A11-008	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(主) 太田大間々線 新 田藪塚工区(8-A2-5)	現道拡幅 L=1,900m	太田市						1,742	3.3	-
	A11-009	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(主) 前橋長瀬線 綿貫 工区(8-A2-6)	現道拡幅 L=300m	高崎市						500		-
	A11-010	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(主) 藤岡大胡線 角淵 工区(8-A2-7)	バイパス L=1,300m	玉村町						1,500	2.6	-
	A11-011	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(一) 苗ヶ島飯土井線 波志江飯土井工区(8-A2-8)	バイパス L=1,000m	前橋市・伊勢崎 市						1,000	2.0	-
	A11-012	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(一) 綿貫倉賀野停車場 線 綿貫工区(8-A2-9)	現道拡幅 L=100m	高崎市						300		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
広域連携事業	A11-013	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(一)大原境三ツ木線 敷塚新田工区(8-A2-10)	バイパス L=4,200m	太田市						1,000	4.0	-		
	A11-014	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	改築	(主)足利伊勢崎線 強 戸工区(8-A2-11)	現道拡幅 L=1,800m	太田市						400		-		
	A11-015	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	修繕	(国)122号 太田工区(8 -A3-1)	舗装補修 L=3,000m	太田市						200		-		
	A11-016	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	修繕	(国)354号 太田工区(8 -A3-2)	舗装補修 L=3,000m	太田市						200		-		
	A11-017	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	修繕	(国)407号 太田工区(8 -A3-3)	舗装補修 L=4,000m	太田市						300		-		
	A11-018	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府 県道	修繕	(一)綿貫篠塚線 伊勢 崎工区(8-A3-4)	舗装補修 L=3,000m	伊勢崎市						250		-		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-025	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	(都)上矢島米岡線(8-A4-3)	バイパス L=600m	伊勢崎市						1,270	3.4	-
	A11-026	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	(都)西部一号線(8-A4-4)	バイパス L=110m	館林市						496		-
	A11-027	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	(都)中央通り線(8-A4-5)	現道拡幅 L=300m	館林市						136	1.2	-
	A11-028	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	(都)中央通り線(8-A4-5)	現道拡幅 L=300m	館林市						4,238	1.2	-
	A11-029	河川	一般	群馬県	直接	群馬県	一級	改良	(一)新堀川 大輪地区(8-A5-1)	河川改修 L=700m	明和町						800		-
	A11-030	河川	一般	群馬県	直接	群馬県	一級	改良	(一)井野川(8-A5-2)	河川改修 L=1,600m	高崎市						480		-
											小計						24,350		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
県土整備部道路整備課において評価を実施	令和5年3月
	公表の方法
	群馬県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>・ 県外企業立地件数の目標は達成できなかったものの、製造品出荷額等の増加は目標を達成し、一定の成果は見られており、群馬県・埼玉県の間を繋ぐ道路、及び高規格道路と産業拠点とのアクセス道路の整備により、物流機能を高め、広域的な競争力を強化し、本地域の更なる産業活性化に寄与したと考えられる。</p> <p>(効果事例)</p> <p>A11-001 (国)354号 海老瀬工区のバイパス整備により、拠点施設「板倉ニュータウン」と埼玉県間の大型車交通量(大型車混入率)が82.1%(H27:20.1%、R3:36.6%)増加した。</p> <p>A11-006 (主)足利邑楽行田線 上中森工区の現道拡幅により、拠点施設「鞍掛工業団地」と埼玉県間の大型車交通量(大型車混入率)が11.8%(H27:15.3%、R3:17.1%)増加した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	<p>・ 道路事業等の完成より、交通結節点と物流拠点とのアクセス道路としてだけでなく、地元の生活道路として住民の安全な通行や生活環境の確保に寄与した。</p> <p>・ 上記 については(国)354号現道の大型車交通量(大型車混入率)が48.7%(開通前:22.8%、開通後:11.1%)減少し、生活道路の安全性が向上した。</p>
特記事項(今後の方針等)	
<p>・ 未完了の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、産業活性化に資する道路整備・河川整備等の基盤整備を行い、広域的な競争力を強化し、本地域の更なる産業活性化を図る。</p> <p>・ 未完了の事業は以下の通り</p> <p>A11-002,005,008,009,010,011,014,022,023,024,025,027,028,029</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	連携する2県の計画エリアにおける製造品出荷額等の増加		
	最終目標値	1480百億円	全要素事業を完成することはできなかったが、両県の計画エリア内で高速道路のスマートICが開通（群馬：太田強戸SIC、埼玉：寄居SIC(下り)）したことで、更なるアクセス向上が図られている。これにより、物流量が増加し群馬・埼玉の計画エリアにおける製造品出荷額等が増加し、目標値に対して2.0%の増加を達成したと考えられる。 埼玉県R2:726百億円。
	最終実績値	1509百億円	
2	群馬県の計画エリア（前橋、高崎、桐生、伊勢崎、太田、館林、藤岡、みどり、玉村、邑楽郡）における製造品出荷額等の増加		
	最終目標値	748百億円	全要素事業を完成することはできなかったが、北関東自動車道の『太田強戸SIC』がH30.7.28に開通したことで、更なるアクセス向上が図られている。これにより、物流量が増加し本県の計画エリアにおける製造品出荷額等が増加し、目標値に対して4.7%の増加を達成したと考えられる。
	最終実績値	783百億円	
3	群馬県の計画エリアにおける県外企業立地件数（製造業）の増加		
	最終目標値	110件	目標値に対して、32.7%の減となった。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響により、企業の県外進出が抑制されたことが要因と考えられる。
	最終実績値	74件	